

大磯町 省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の 推進に関する条例が 平成27年4月1日に施行されました!!

この条例は、大磯町における省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの利用の促進について基本的な事項を定めて、町のエネルギー政策の推進を図り、環境保全と環境への負担の少ない安全で安心な循環型社会を推進していこうというものです。

町・町民・事業者・エネルギー事業者の役割を明確にして、基本的な理念や目的の実現に向け、再生可能エネルギーの利用等の促進に取り組んでいきます。

※条例の内容につきましては、6月号広報の折り込みチラシをお読みください。

☎ 環境課 ☎ 内線352

環境調査（河川・海域・大気）測定調査結果

町では、河川・海域などの水質や大気の状態を把握するため、毎年環境調査を実施しています。昨年度の各種調査結果は下表のとおりでした。

河川水質調査結果

河川名	測定地点	pH (単位：なし)		BOD (単位：mg/ℓ)		SS (単位：mg/ℓ)		n-ヘキサン (単位：mg/ℓ)	
		26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度
池田排水路	富士白苑付近	8.8	8.9	2.6	4.0	6.0	5.0	0.7	0.6
三沢川	富士白苑付近	8.9	8.5	3.2	3.5	2.0	2.0	0.5	<0.5
嶋立川	嶋立橋	7.9	7.9	5.2	7.0	2.0	2.0	<0.5	0.5
血洗川	河口付近	8.1	8.0	3.7	4.7	3.0	3.0	0.8	0.5
葛川	プリンスホテル付近	7.9	8.1	2.8	2.5	3.0	4.0	<0.5	<0.5
不動川	川尻公園付近	7.9	7.9	3.5	4.6	6.0	6.0	0.5	<0.5
長谷川	スーパーヤオマサ付近	8.0	8.0	4.9	4.2	4.0	3.0	<0.5	<0.5
谷戸川	月京橋付近	9.0	8.8	4.5	5.4	2.0	9.0	<0.5	<0.5
金目川	花水橋付近	7.5	7.6	1.6	1.6	7.0	6.0	<0.5	<0.5
環境基準	-	6.5~8.5		5以下		50以下		-	

※数値は年度内平均値、<印は定量下限値未満を示す。 ※金目川は神奈川県がそれぞれ前年度に測定した結果です。

海域水質調査結果

測定地点	pH (単位：なし)		COD (単位：mg/ℓ)		DO (単位：mg/ℓ)		n-ヘキサン (単位：mg/ℓ)		大腸菌 (単位：MPN/100mℓ)	
	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度
中央	8.6	8.3	2.8	3.6	8.7	8.7	0.5未満	0.5未満	2未満	49
漁港	8.2	8.2	1.9	2.4	8.2	7.1	0.5未満	0.5未満	2未満	23
港外	8.5	8.3	1.1	3.2	8.9	8.1	6.5	0.5未満	2未満	49
環境基準	7.8~8.3		2以下		7.5以上		無検出		1,000以下	

※数値は年度内平均値

二酸化窒素濃度調査結果

測定地点	単位：ppm	
	26年度	25年度
役場南側	0.014	0.021
図書館前	0.017	0.021
国府支所	0.019	0.026

※数値は1時間値の日平均値

◎環境基準：

0.04～0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

◎測定方法：

ザルツマン試薬を用いる吸光度法

◎採取時間

12：00～翌日の12：00までの24時間

☎ 環境課 ☎ 内線352

用語の解説

◎pH（ペーハー・水素イオン濃度）

溶液中の水素イオン濃度を表す記号で水素イオン指数ともいう。

pHは、0から14まであり、7が中性、7を超えるとアルカリ性、7未満が酸性となる。

◎BOD（生物学的酸素要求量）

水中の有機物質（汚物）が一定条件のもとで微生物によって分解されるときに消費される酸素の量。

◎COD（化学的酸素要求量）

水中の有機物質が酸化剤によって酸化されるときに消費される酸素の量。

◎SS（浮遊物質）

水中に懸濁している固体や浮遊固形物。

◎DO（溶存酸素量）

水中に溶け込んでいる酸素の量。きれいな河川は通常7～10mg/ℓ程度である。

◎n-ヘキサン（n-ヘキサン抽出物質）

水中に含まれている比較的揮発しにくい油状物質の量。

◎大腸菌群

人畜の排出物などによる汚れを知る尺度で、各消化器系病原菌によって汚染されている可能性が高い。

◎ppm

濃度の単位で、100万分の1を表す。

◎環境基準

人間の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準。（いわゆる規制基準ではない。）